

オリパス
コーポレートセンター
宣伝部部长
馬越 正就氏

宣伝部長
「私の趣味」
01

木に触れて広がる 自由な発想

Q 趣味は何ですか？

A クラフト雑貨を作っています。



クラフト雑貨作りが趣味の馬越さん。カップボードなど、大作に挑戦することもあるそうだ。

もともと自然が好きで、自宅も周りが緑に囲まれています。それもあって、木工や木の实を使ったクラフト雑貨作りをしています。始めたきっかけは意外と単純で「わたしのカントリー」という雑誌を読んでやってみようと思ったから。2000年から始めて、7年ほど続けています。もともと、高校、大学と美術部で油絵をやった

いたので、絵を描いたり何か作ったりするのが好きなんです。森を歩いて木の枝や落ち葉、木の実などを拾い、リースやカップボードやテーブルを作っています。小さなものであれば、ペイントすることもあります。森や木との触れ合っている、香りをかいているだけでも、心がリラックスしますね。

思いついたアイデアをこのスケッチブックに書き留めている。

馬越 正就 Masanari Umakoshi
オリパスコーポレートセンター宣伝部長
1953年福岡県生まれ。77年に早稲田大学政治経済学部経済学科卒業、同年オリパス入社。海外営業部カメラグループ中南米・米国担当後、84年に宣伝部に配属される。その後、93年には米国のオリパスアメリカに駐在。97年に帰国後、宣伝部にてカメラ・デジタルカメラの宣伝グループリーダーを務め、2001年より広報室長就任。03年より宣伝部長を務める。

Q アイデアがひらめく瞬間は？

A 電車の中が多いです。

普段から、少し時間が空いたときに、次に何を作るのか想像しています。思いついたアイデアは、スケッチブックに書き留めています。大きな家具などになると、ここからさらに設計図に落とし、制作しているんですよ。

電車の中でふと思いついて、書き留めたこともありま。小物の制作にかかる時間はだいたい2〜3時間です。基本的に無心でやっています。が、仕事の発想がふっと浮かんでくることもあります。クラフト雑貨を作った際は触れない木や自然のものに触れ、香りをかぐことで、全く別の方向から仕事のアイデアがひらめくんですよ。

Q 趣味がビジネスに役立つ経験は？

A 発想を広げるいいチャンスになっています。



小鳥の巣箱も自作。ただ、「猫を飼っているため小鳥は来ない」そうだ。

木工に使った木の余りで木製の植木鉢を作り、それに木の实を使ったトピアリーを作ったもの。

自宅の庭にあるガーデンテーブルやイスは自作のもの。植木鉢も自分でペイントしている。

クリスマスに教会を飾るために作ったリース。森で拾った枝や木の实を使って、教会に通っている仲間と平日ほどかけて制作した。

ビジネスシーンで活躍するペンも、木でできたものを使っている。

クラフト雑貨作りは発想を広げるチャンス。



普段、デスクワークをしていると、自由に発想する機会はなかなかないものです。クラフト雑貨という立体的な作品作りのアイデアを考えることや、アイデアをスケッチにしておく作業などは発想のいい練習になっています。それから、ビジネスで悩んでいるときにクラフト雑貨作りをする、気持ち切りセットでき、引きずらなくて済みますよね。また、クリスマス前などはみんながリースを作ります。こうしたビジネス以外の出会いでたくさんの人と話すことも、間接的にビジネスに役立っていると思います。